

農は人の暮らしや健康の土台となる仕事です

くるみ
高津 胡桃さん
(よえもん農家)

大野市

(令和8年7月)

プロフィール



- ◆ 3歳からバレエを始め、17歳で海外留学を経験。
- ◆ 東京での生活を経て、令和4年から家族のもとで就農。
- ◆ 現在は水稻の他、サトイモ・トマト・キュウリ・バジル等、野菜も数種類を栽培。
- ◆ 自身のライフスタイルや健康を大切にしながら「持続的に農業を続けられる経営」を目指しています。



今年の3月から猫を飼い始めました。
猫がいないと、外から入る動物に対する
侵入防止の対策に効果がありました。



手前:バジル、トマト
奥:サトイモ



無農薬栽培米

私から見た 「農業の魅力」とは



食は人の健康や暮らしの土台であり、農業はそうした人々の生活を支える大切な仕事であることに大きなやりがいを感じています。

ちょっと一言

- ◆ 水稻は慣行栽培と無農薬栽培の両方で取り組んでいます。田んぼごとの土質や水管理の違いに応じて試行錯誤しながら栽培しています。
- ◆ 無農薬・無化学肥料の栽培で課題となるのが除草作業で、早めの除草を徹底しています。なお、除草機はクラウドファンディングを利用して購入しました。
- ◆ お米に関しては、購入希望者が増えているものの、生産拡大だけではなく、適正な価格で販売できる販路の確保を重視しています。
- ◆ 若い世代のコメ離れを意識し、「ご飯を炊かなくても手軽にお米を食べられる商品」の開発に関心があり、今後は自家栽培したもち米や米粉を活用した加工・販売も検討しています。

農業に関心のある皆さんへ

- ◆ 地域の子供達を対象に田植えや除草、稲刈り等の農業体験を行っています。この取組を通じて身近なものに感じてもらえるようになってほしいと思っています。
- ◆ 農業では、女性農業者という理由で注目されがちですが、性別や年齢は関係なく活躍されている方が注目されてほしいと思います。